

# 伊藤ともこの議会&活動報告



平成30年 第2回那珂川町議会定例会議は、6月7日～22日の16日間で39議案の審査を行いました。

## 👍 那珂川市になると何が変わるの？

### ●福祉行政が変わります！

市になると、法律によって「福祉事務所の設置」が義務づけられます。県が行っている障害児福祉手当の認定や生活保護の決定、児童虐待など子育てに関する家庭児童相談などの事務を、那珂川市が直接行うこととなります。このことによって、住民ニーズを的確に把握し迅速な対応ができるなど、よりきめ細やかな福祉サービスがワンストップでできるようになります。新たな施設整備をせず、福祉担当の部署に窓口を設けて対応しますが、新たな職員の配置は行います。



## 視察報告

### ○滋賀県近江八幡市

「売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのが良い商売である」三方よし、これが近江商人の心得です。

この考えに基づいて、地域住民、市民、世界中の支援者とともに、あらゆる世代が互いに交流し、それぞれの人生を楽しみながら生涯暮らし続けられるまちづくりを目指しています。

住民のボランティア精神が盛んなまちで、三方よしの考えが浸透していると感じました。



## 伊藤ともこの6月一般質問

### ① 移動図書館の導入について

移動図書館を知っていますか？

音楽を鳴らしながらたくさんの本を積んで、最寄りの公園などの公共施設にやってくる車です。筑紫地区の中では、那珂川町のみ移動図書館がありません。読書の大切さをずっと訴えてきましたが、図書館に行くことができない人でも本に触れあえるように、アウトリーチ支援として移動図書館の導入を提案しました。

#### <回答>

費用面で導入は難しい。町民が読書に親しみを持つように効果的な手法を模索する。

春日市の移動図書館を見に行きました！



約3,000冊の本を載せて、18ヶ所のステーションを回る移動図書館たんぽぽ号。公園に停車しているので、幼稚園帰りの親子が本を借りるついでに公園で遊んでいる姿が印象的でした。ほかにも近所に住む高齢の方は、車がないので移動図書館で本を借りられるのは助かると話されていました。図書司書が2名乗車しており、住民サービスの手厚さを感じました。



### ② 学校給食へ那珂川町産を増やす取り組みについて



継続して提案してきた学校給食への想い「那珂川町産の畜産物をもっと増やしてほしい！」は全く進捗がなく、今年度は0.65%です。博多南駅4階のビアガーデンには町内生産者の畜産物を使用した美味しい料理があります。若手農業者も増えています。子どもたちに那珂川町産の食べ物を知ってほしい。農業者に安心して畜産物を作ってもらいたいと願い、引き続き提案を行っていきます。

#### 学校給食に入っている那珂川町産のもの



ヤーコン



アスパラガス



たけのこ

### ③ 民間の力を市民価値につなげるために

町内には、指定管理者が管理している施設が9つあります。指定管理制度とは、公の施設の設置目的を効果的に達成するため必要があると認めるときに、法人などにその施設の管理を行わせる制度のことです。指定管理制度の成果や課題の検証、ノウハウの蓄積が活かされているか質問を行いました。

#### <回答>

管理者が変わっても住民サービスの低下を招かないよう、モニタリング制度を活用している。

## サポーター 会員募集

### ○サポーター会員 (500円~3000円/年間)

ふくおか市民政治ネットワークの活動は、議員報酬からの寄付と、皆さんの会費とカンパで成り立っています。ぜひ、私たちの活動を支えてください！

### ○ボランティアメンバー

ニュースを年4回発行しています。ご近所の方に配布して下さる方を募集中です。

